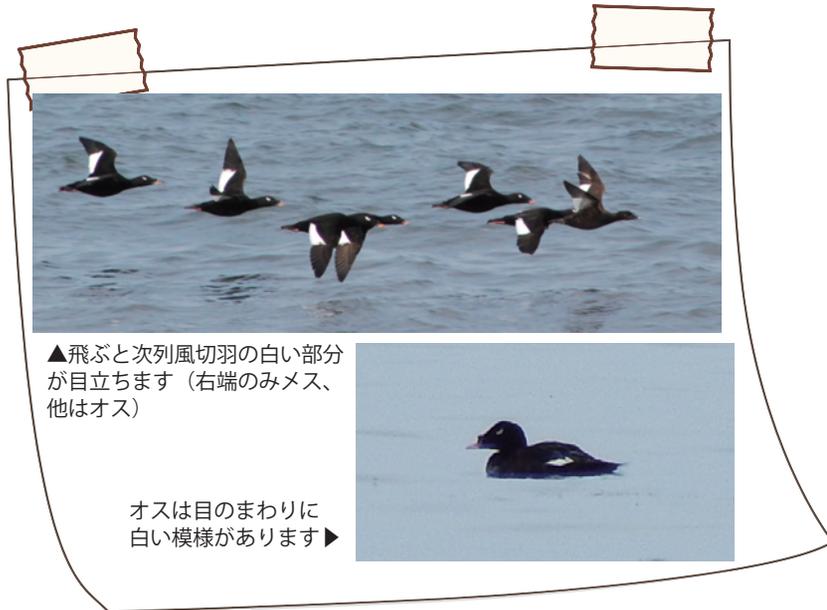




ネイチャーセンターだより

2022年11・12月号

新・いきもの図鑑



▲飛ぶと次列風切羽の白い部分が目立ちます(右端のみメス、他はオス)

オスは目のまわりに白い模様があります▶

ビロードキンクロ (天鷲絨金黒)

クログモより少し大きな海ガモのなかまで、春国岱海岸の沖合で秋から冬に見られます。クログモの群の中に数羽が混じることが多いのですが、ビロードキンクロだけの群になることもあります。全身が黒っぽい点はクログモに似ていますが、オスの顔には三日月形の白い模様があります。飛ぶと翼に白い部分があるのも、クログモにはない特徴です。

アメリカにいるものとユーラシア西部にいるものは、現在は同種別亜種とされていますが、日本鳥学会が目下編集している鳥類目録では、3つの亜種をそれぞれ別種に格上げすることが検討されています。アメリカビロードキンクロは根室市内でも記録がありますので、来年、新しい目録が出版された暁には、翼の白い部分以外に、嘴の色などの細かな特徴を確認する必要があります。

【参考文献】氏原他 .2015. 決定版日本のカモ識別図鑑. 誠文堂新光社.

秋のオオハクチョウ飛来状況

10月9日、旅鳥のオオハクチョウが風蓮湖に飛来※し(道の駅スワン44ねむろの職員の方が確認)、その後続々と数を増やしてきています。10月28日に春国岱ネイチャーセンターのレンジャーが行った調査では、風蓮湖と温根沼で合計1,789羽のオオハクチョウを確認しました。個体数は、同時期の過去5年の平均の2倍近い記録です。(※夏のあいだ残っていた4羽とは別の群れです。)



写真 はづくろいをする幼鳥(左)と成鳥(右)



図 2021年秋のオオハクチョウカウント数の推移と今回の比較

ちなみに根室市の鳥が白鳥であることは、みなさんご存じですか？市民のみなさんにもぜひ、美しいオオハクチョウをご覧になっていただきたいです。春国岱では、風蓮湖内で湖底に生える草、アマモを食べたり、休息しているオオハクチョウの姿を観察することができますよ。

見どころMAP

散策時は防寒対策をしっかりと！



- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)

- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

11・12月の見どころ予報

凡例

- ◎ ぜったい見られる (と思う)
- ちょっと気をつければ見られる
- + よーく気をつければ見られる
- ・ めったに見られない

オジロワシ オオワシ	11月	+	立枯木や消波ブロックの上、砂丘の上にとまっていることが多く、カモの群をおそっているのを見ることがあります。12月になると、観察する機会が増えてきます。
	12月	○	
タンチョウ	11月	○	春国岱周辺の湿地や干潟などで見られます。今年生まれの幼鳥は、頭から首にかけて茶色っぽいのが特徴です。12月に入ると釧路湿原に移動するものが多くなります。
	12月	+	
オオハクチョウ	11月	◎	例年、最も数が多くなる11月上旬～中旬には、風蓮湖・温根沼全体で約2,000羽が観察できます。厳冬期、多くは本州へ移動し、根室では少数のみが越冬します。
	12月	○	
カモ類	11月	○	11月、春国岱湾では、2,000羽を超えるカモ類が観察できます。12月は、多くの種類が南へ渡っていくため、数が減っていきますが、根室湾では、クロガモやウミアイサ、ホオジロガモなどの海ガモ類がよく見られるようになります。
	12月	+	
カモメ類	11月	◎	シロカモメとオオセグロカモメがよく観察できます。ウミネコやユリカモメは、南へ渡っていくため見る機会が減ります。少数ですが、ワシカモメも観察できます。
	12月	○	
春国岱	野鳥 (森)	運が良いと、クマガラの鳴き声が聞けたり、森の上を飛ぶ姿が見られます。	
	けもの	エゾシカ、キタキツネが見られます。	
自然学習林	野鳥	ハシブトガラ、シジュウカラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、エナガ (シマエナガ)、キバシリ、キツツキ類 (コゲラ・アカゲラ・オオアカゲラ)が見られます。	
	けもの	エゾシカ、キタキツネが見られます。稀にエゾリスが見られることもあります。	

「高病原性鳥インフルエンザ」ご注意ください

高病原性鳥インフルエンザといえば、昨シーズンは北海道内でも多くの野鳥が死んだり弱って保護される事態となり、根室市内でも1月から3月までハシブトガラスの死亡が相次いだこと、5月にオジロワシ1羽の死亡が見つかったことが記憶に新しいところです。

今シーズンもすでに、全国で6件のウイルス発見が報じられています（10月30日現在）。根室管内でも10月8日に別海町で採取されたカモ類のフンから、高病原性のウイルスが見つかっており、身近なところにウイルスが潜んでいることを想定すべき状況になっています。春国岱などの野鳥の多い水辺で野鳥観察をする場合には、昨年同様、次のような注意していただく必要があります。

1. 生きている野鳥や野鳥の死体には、素手でさわらない。
2. 野鳥のフンや羽毛をできるだけふまない、さわらないようにする。もしさわった場合は、流水とせっけんで手をよく洗い、うがいをする。
3. 野外観察の後は、くつの底や車のタイヤをしっかりと洗い、アルコールやうすめた塩素系の漂白剤などで消毒する。帰りに動物園や農場には立ち寄らない。
4. 弱った野鳥や死んだ鳥を見つけた場合は、できれば、根室振興局に場所や状況を知らせる（電話0153-23-6823）。

「鳥インフルエンザ」は、基本的に鳥どうし（主にカモ類）に流行する病気で、この中でニワトリにうつると重い症状になり死ぬこともある特殊なタイプを、「高病原性」と呼びます。高病原性鳥インフルエンザは、通常の野鳥観察で野鳥から人にうつったり、また加熱された鶏肉や卵を食べることで人にうつったりする病気ではありません。しかし、ニワトリを飼育している農場にこのウイルスが入ると、ニワトリが多数死んでしまう他、病気が広がるのを防ぐ目的で同じ農場内のニワトリを殺処分する必要があり、経済的な影響が大きいのです。

ですから、ウイルスが含まれている鳥のフンや羽毛を踏んだ人や車が、農場にウイルスを運んでしまうといったことは、絶対に避けなければいけません。ニワトリだけではなく、家庭や動物園で飼われている鳥に病気がうつるおそれもあります。

なお高病原性鳥インフルエンザは、人が大量に鳥を飼うことにより、鳥インフルエンザの毒性を強めてしまった結果、生まれた病気である、と考えられています。（文責：チーフレンジャー 古南幸弘）

※高病原性鳥インフルエンザに関する最新情報は、環境省のウェブサイトをご覧ください。

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/index.html



しゅん くに たい 春国岱クイズ

10月中旬ごろから、春国岱では全身焦げ茶色の冬毛になったエゾシカが見られ、フィーヨーオーという大きな鳴き声（ラッティング・コール）が聞かれるようになりました。

百人一首に、『奥山に紅葉ふみわけ鳴く鹿の声きく時ぞ秋は悲しき』という歌がありますが、『人影ない奥山で紅葉を踏み分けながら鳴く鹿の、その声を聞くと秋の悲しさが募る』という意味で、秋のシカの鳴き声をもの悲しいと聞いていたようです。

さて、このラッティング・コールはどんなことを伝える鳴き声でしょうか？

- ① 仲間とはぐれたシカがさみしくて鳴いている
- ② 母シカが小シカを呼んでいる
- ③ オスがメスにアピールしている



♪春国岱ネイチャーセンターのイベント情報♪

◆11/20 小鳥の小道ネイチャーウォッチング 参加申し込み受付中！

- ◇日時：2022年11月20日(日) 9:30～12:00
※風雨の強い時は11月23日(水・祝)に順延
◇内容：ネイチャーセンターのとなりの自然学習林を歩きながら、野鳥や植物など、いろいろな生き物を観察します。
◇定員：20名(先着順)
◇対象：3歳～おとな
(小学生以下は保護者同伴；17歳以下の方は保護者の方に参加申込確認書にご署名いただけること)。
◇集合・解散：春国岱ネイチャーセンター
◇持ち物・服装：長靴、防寒具上下、手袋、帽子、タオル、マスク、飲み物、筆記用具、お持ちの方は双眼鏡(貸出しあり・先着順)
◇参加費：1人100円(保険代)
◇申込み切：11月18日(金)16時
★お申込方法：メール、電話または直接。参加者全員の氏名、お電話番号、小学生以下の方は年齢・学年もお知らせください。



◆毎週土曜日 ワンコインガイド

- 「ねむろトコロジスト(市民自然ガイド)の会」が春国岱の自然をご案内します。お気軽にご利用ください。
◇日時：毎週土曜日 午前10時～正午(12月・1月は休止。ただし事前にご希望があった場合は実施します)
※天候や人員確保などにより対応できない日時もございます。あらかじめご了承ください。
◇受付場所：春国岱ネイチャーセンター(申込不要、当日直接お越しください)
◇参加費：ひとり500円(小学生以下無料、ただし要保護者同伴)
◇12月・1月のご利用希望は、根室市観光協会(0153-24-3104)までお問い合わせください。

【お知らせ】ネイチャーセンターのトイレ改修工事のため、11月5日から12月中旬ごろまで、館内のトイレが使用できません。ご来館の際は玄関右横の仮設トイレをご利用ください。ご不便をおかけしますがご理解のほどをお願いいたします。

募集中!
ボランティア『スंक』

春国岱ネイチャーセンターでは、施設ボランティアグループ『スंक』で活動して下さる方を随時募集しています。
『スंक』は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的として活動しています。月に1回(基本的に第3火曜日)の定例会で、自然学習林の巡回や道標・樹名板などの管理を行ったり、市民向けのイベントを企画したりしています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。
ボランティアに興味のある方、定例会の見学ご希望の方は、ネイチャーセンターまでお問合せください。

◆対象：18歳以上
◆年会費(ボランティア保険料含む)：1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。またマダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください

クイズのこたえ 答 ③。シカの繁殖期(発情・交尾)は10～11月の秋。ラッティング・コールのラッティングとは、「発情期の」という意味です。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL: 0153-25-3047 FAX: 0153-25-8570

Eメール: nemu_nc@marimo.or.jp

HP http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

Facebook <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆休館日：(開館時間 9:00～16:30)

11月2・4・9・16・24・25・30日 12月7・4・21・28～31日

※年始は1月5日から開館

◆団体でご利用の方へ(事前予約制)

自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録